

平成24年地域公共交通優良団体として
珠洲市地域公共交通活性化協議会が国土交通大臣より
表彰されました

9月26日 東京都千代田区の海運ビルにおいて、地域公共交通に関する取り組みに顕著な功績があったとして、「珠洲市地域公共交通活性化協議会」が国土交通大臣より表彰されました。

北陸信越運輸局管内では、平成21年に安曇野市地域公共交通活性化協議会、平成23年に三条市地域公共交通協議会の受賞に続き、3団体目の受賞であり、石川県内の団体としては初受賞となります。



珠洲市地域公共交通活性化協議会(石川県珠洲市)

取組み(功績)の概要 『地域による支援活動を通じて、バスを守り育てる運動を展開』

- 交通空白地域へのデマンド型乗合タクシーの導入や、既存バス路線に代えてスクールバスを活用して乗合バスを運行するなど、地域の公共交通を再編。
- 旧珠洲駅跡地を道の駅「すずなり」として再整備し、市外からの特急バスと市内路線の交通結節点として位置づけ、交通体系の再整理を行った。
- 地域住民が路線バスを共有財産として捉え、バス停留所の除雪・清掃、バス停ベンチの設置等などのバス支援活動を行う、「バス・ボランティア・サポートプログラム」制度を創設。地域団体、学校等によるバス支援活動が積極的に行われている。

○事業内容

1. デマンド型乗合タクシーの運行

- ・山間部に位置する交通空白地域にデマンド型の乗合タクシーを導入。



- ・路線バスに接続させることで、幹線・支線の役割分担を踏まえた運行を行っている。

2. スクールバスの乗合運行

- ・既存バス路線に代えて、スクールバスの回送運行を一般乗合バスとして運行することで、効率的に交通サービスを維持。



3. 交通結節点の整備とバス路線の再編

- ・のと鉄道旧珠洲駅跡地を道の駅「すずなり」として再整備。市外(能登空港／金沢)からの特急バスと市内路線の交通結節点として位置づけ、交通体系の大幅な再整理を図った。

4. バス・ボランティア・サポートプログラム

- ・地域住民が路線バスを共有財産としてとらえる「バス・ボランティア・サポートプログラム」制度を創設。
- ・バス・ボランティア・サポート団体を結成し、地域団体や学校、市民団体等によるバス支援活動が生まれた。



古くなった住民所有の倉庫を待合所として利用



住民によるバス停設置活動の様子



高校生によるバス停の清掃活動